課題　5　国内外に貢献する上下水道
～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～

重点施策５-１　本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献
重点施策５-２　多様な形態による広域連携
重点施策５-３　地域に親しまれる上下水道

【共　通】

事 業 名	5-1-01　上下水道技術の国際協力
目　　的	本市が事業運営の過程で培った技術やノウハウを活かし、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献します。また、技術継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与していきます。
取組内容	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市、ミャンマー国マンダレー市、インドネシアなど）への職員派遣や海外からの研修員受入れなどにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理などに関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献します。 併せて、国際技術協力を通じて、本市職員の技術の継承や実務能力の向上を図ります。

（研修受入）

井手浦浄水場での研修風景

（専門家派遣）

派遣先指導風景

成果目標	・研修員受入人数 255 人（毎年度） ・職員派遣人数 20 人（毎年度）

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
研修員受入	→	→	255 人/年	→	→
職員派遣	→	→	20 人/年	→	→

課題　5　国内外に貢献する上下水道
～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～

重点施策 5-1　本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献
重点施策 5-2　多様な形態による広域連携
重点施策 5-3　地域に親しまれる上下水道

【共　通】

事 業 名	5-1-02　海外水ビジネスの推進
目　　的	国際技術協力で培った人的ネットワークやノウハウを活かし、海外の上下水道分野の需要を取込むことで、水ビジネスの創出や地元企業の海外展開を支援します。 併せて、世界の水環境改善に貢献します。
取組内容	これまでの国際技術協力により緊密な人的ネットワークを築いているカンボジア、ベトナム国ハイフォン市、インドネシアなどを対象に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援するとともに、「水ビジネスの国際戦略拠点」を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信します。併せて、国際技術協力では対応しきれない上下水道分野の課題（水環境改善や持続可能な事業運営など）を解決するため、ビジネスの視点を取り入れた国際貢献を実施します。 カンボジア国主要９都市の水道整備基本計画策定に関する覚書締結 ベトナム・ハイフォン市水道のマッピングシステムを北九州市の地元企業が受注 水ビジネスの国際戦略拠点（ビジターセンター） ビジターセンター3 階の技術・製品展示コーナー
成果目標	・海外水ビジネスの受注と地元企業の振興 ・海外水ビジネスを通じた国際貢献

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
地元企業の振興	━━	━━	━━	━━	━━→
国 際 貢 献	━━	━━	━━	━━	━━→

重点施策 5-1　本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献
重点施策 5-2　多様な形態による広域連携
重点施策 5-3　地域に親しまれる上下水道

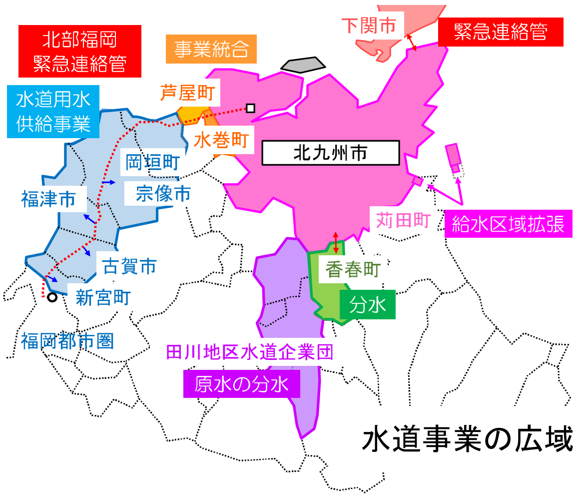
【共　通】

事 業 名	5-1-03　外郭団体等の更なる活用（再掲）
目　　的	上下水道事業を取り巻く環境が変化する中、上下水道局と外郭団体との一体的な取組みや民間活力の活用を図ることにより、効率的・安定的な事業運営や国内外の水事業へ効果的に対応していきます。
取組内容	**1　外郭団体との一体的な取組み** （一財）北九州上下水道協会（以下「協会」という。）は、上下水道局の補完的な役割を果たしてきましたが、市と出資関係がなく、市が経営などに関与できていませんでした。 そこで、市との関係を明確にし、より一層、一体的に上下水道の効率的、安定的運営、水道事業の広域化、海外水ビジネスに対応するため、協会を母体とする外郭団体「（株）北九州ウォーターサービス*」を平成 27 年度に設立しました。 なお、外郭団体のノウハウや技術力向上のため、民間出資を取り入れました。 **【（株）北九州ウォーターサービスの主な事業】** ①市内の上下水道事業･･･浄水場の運転監視や浄化センターの中央操作など ②水道事業の広域化事業･･･宗像地区事務組合の水道事業の一部受託 ③海外水ビジネス事業･･･国際技術協力や水ビジネス 今後、上下水道局は、「市内の上下水道事業」に加え、「国内外での水ビジネス」の拡大に向けて、市内企業や（株）北九州ウォーターサービスとともに、一層連携を強化し、積極的に推進していきます。 **2　民間活力の活用** 定型的な業務など民間委託できる業務は、可能な限り民間に委託し、民間の活力を活用します。
成果目標	市内企業、（株）北九州ウォーターサービスとの一層の連携強化

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
外郭団体との一体的取組み体制の構築	→				
外郭団体との一体的な取組	→	→	→	→	→
民間活力の活用	→	→	→	→	→

重点施策 5-1　本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献
重点施策 5-2　多様な形態による広域連携
重点施策 5-3　地域に親しまれる上下水道

【共　通】

事 業 名	5-2-01　上下水道事業の発展的広域化
目　　的	本市が長年の事業運営の過程で培った技術やノウハウなどを活用し、積極的に広域連携を進めていきます。
取組内容	【水　道】 包括業務委託*の受託や技術応援など多様な形態による連携について、調査・検討を行い、本市と周辺自治体の双方にメリットのある方法による広域連携に向けて、協議を重ねます。  水道事業の広域連携 【下水道】 周辺自治体からの要請を踏まえ、汚水処理、汚泥処理などの事務の受託を検討します。
成果目標	【水　道】　包括業務委託の受託（宗像地区事務組合（H28～）） 技術研修などへの周辺自治体職員の受入 多様な形態による広域連携の検討・協議 【下水道】　汚水処理などの実現可能性の調査（１都市程度）

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
包括業務委託の受託	――――――――――――――――――――――――――――――――――――→				
技術研修等への周辺自治体職員の受入	――――――――――――――――――――――――――――――――――――→				
多様な形態による広域連携の検討・協議	調査・検討 →	協議 ―――――――――――――――――――――――――→			
実現可能性の調査	――――――――――――――――――――――――――――――――――――→				

課題　5　国内外に貢献する上下水道
～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～

重点施策 5-1　本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献
重点施策 5-2　多様な形態による広域連携
重点施策 5-3　地域に親しまれる上下水道

【共　通】

事 業 名	5-2-02　外郭団体等の更なる活用（再掲）
目　　的	上下水道事業を取り巻く環境が変化する中、上下水道局と外郭団体との一体的な取組みや民間活力の活用を図ることにより、効率的・安定的な事業運営や国内外の水事業へ効果的に対応していきます。
取組内容	**1　外郭団体との一体的な取組み** （一財）北九州上下水道協会（以下「協会」という。）は、上下水道局の補完的な役割を果たしてきましたが、市と出資関係がなく、市が経営などに関与できていませんでした。 そこで、市との関係を明確にし、より一層、一体的に上下水道の効率的、安定的運営、水道事業の広域化、海外水ビジネスに対応するため、協会を母体とする外郭団体「（株）北九州ウォーターサービス*」を平成 27 年度に設立しました。 なお、外郭団体のノウハウや技術力向上のため、民間出資を取り入れました。 **【（株）北九州ウォーターサービスの主な事業】** ①市内の上下水道事業･･･浄水場の運転監視や浄化センターの中央操作など ②水道事業の広域化事業･･･宗像地区事務組合の水道事業の一部受託 ③海外水ビジネス事業･･･国際技術協力や水ビジネス 今後、上下水道局は、「市内の上下水道事業」に加え、「国内外での水ビジネス」の拡大に向けて、市内企業や（株）北九州ウォーターサービスとともに、一層連携を強化し、積極的に推進していきます。 **2　民間活力の活用** 定型的な業務など民間委託できる業務は、可能な限り民間に委託し、民間の活力を活用します。
成果目標	市内企業、（株）北九州ウォーターサービスとの一層の連携強化

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
外郭団体との一体的取組み体制の構築	→				
外郭団体との一体的な取組	→	→	→	→	→
民間活力の活用	→	→	→	→	→

課題　5　国内外に貢献する上下水道
～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～

重点施策 5-1　本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献
重点施策 5-2　多様な形態による広域連携
重点施策 5-3　地域に親しまれる上下水道

【共　通】

事業名	5-3-01　お客さまに開かれた広報・広聴活動の推進 （施設開放、モニター、環境学習支援等）
目　的	お客さまが知りたい情報や、お客さまに知っていただきたい情報を積極的に発信し、上下水道事業を取り巻く環境を理解していただくことに努め、上下水道事業への関心を高めます。 また、上下水道モニター*やお客さまアンケートなどを通じて、お客さまとのコミュニケーションの充実やお客さまニーズの的確な把握に努め、透明性の高い事業経営を推進し、上下水道事業への信頼を高めます。
取組内容	上下水道事業への関心や信頼を高めるため、広報・広聴活動を推進します。 ・お客さまの声の集約（毎年度） ・上下水道に関するお客さまアンケート調査（H31） ・職員接遇研修３回（毎年度） ・広報紙「くらしの中の上下水道」の発行・全戸配布１回（毎年度） ・ホームページの充実（随時） ・展示会やイベントでの事業ＰＲ（随時） ・上下水道モニター（年間、１日）５回開催（毎年度） ・出前講演などによる事業周知 24 回（毎年度） ・環境学習支援の実施３回（毎年度） ・浄水場見学者 8,000 人以上（毎年度）［H26：8,997 人］ ・小学校の社会見学授業の受入校 100 校以上（毎年度）［H26：120 校］ ・日明浄化センター管理棟（ビジターセンター）の活用（随時）
成果目標	・お客さま満足度（お客さまアンケート調査）75％以上（H31）［H26：74.1％］ ・お客さま満足度（上下水道モニターアンケート調査）80％以上（毎年度） ・お客さまからの苦情件数の減少率５％以上（毎年度〔H26 比〕）［H26：871 件］

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
広報活動	→	→	→	→	→
広聴活動	→	→	→	→	→

課題　5　国内外に貢献する上下水道
～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～

重点施策 5-1　本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献
重点施策 5-2　多様な形態による広域連携
重点施策 5-3　地域に親しまれる上下水道

【共　通】

事 業 名	5-3-02　産学官連携による研究開発の推進
目　　的	【水　道】 近年、水道管路を含む社会インフラの老朽化に起因する事故が社会的問題となっています。水道管路については、漏水の兆候を検知することで予防対策が行えることから、漏水検知に関する技術を産学官連携によって研究を進めます。 また、水道管路維持管理共同研究推進委員会（「社会インフラ（地下構造物）のセンシングデータ収集・伝送技術及び処理技術の研究開発」推進委員会）に参加します。 【下水道】 下水道事業が抱える技術的課題の解決に向け、下水道施設や用地などのストックを活用して、民間企業や研究機関などが持つ先端技術や情報を取入れた共同研究を実施するとともに、民間企業などによる下水道施設を使った実証実験を支援します。
取組内容	企業・学校などや他都市との連携をより一層図り、新技術の開発支援・上下水道技術に関する共同研究などを毎年実施します。
成果目標	【水　道】効率的な漏水探知システムの開発（H32） 【下水道】企業等との共同研究などを５件以上実施（H32）

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
［水　道］企業等との共同研究等	水道管路維持管理共同研究推進委員会参加（効率的な漏水検知システムの開発）→			共同研究 →	→
［下水道］企業等との共同研究等	共同研究等５件以上 →				→

課題　5　国内外に貢献する上下水道
～高い技術やノウハウを活用し、国内外に貢献します～

重点施策 5-1　本市が持つ技術力・経験を活かした国際貢献
重点施策 5-2　多様な形態による広域連携
重点施策 5-3　地域に親しまれる上下水道

【下水道】

事 業 名	5-3-03　下水道 100 周年記念事業
目　　的	平成 30 年度で、下水道事業に着手して 100 周年を迎えることから、記念事業などを通じて、お客さまに下水道の果たす役割や重要性について理解を深めていただき、下水道事業のさらなる発展につなげます。
取組内容	下水道事業着手 100 周年を迎える平成 30 年度に記念式典をはじめ、記念事業を開催します。 記念事業の柱として、下水道分野では国内最大級の展示会である「下水道展」を開催できるよう誘致します。 また、平成 29 年度から、「プレ 100 周年」として、「下水道 100 周年」を積極的にＰＲしていきます。

下水道展’15 東京（H27.7 東京ビックサイト）

成果目標	記念事業が具体化されてから設定

取組内容	H28	H29	H30	H31	H32
プレ 100 周年	企画	開催 →			
下水道展の誘致	誘致活動	準備	開催 →		
記念事業の実施	企画	準備	実施 →		